

★今月の星もよう★

今年(ことし)は10月6日が中秋の名月です。満月(まんげつ)は翌日(よくじつ)7日ですが、ぜひ6日に月見(つきみ)をしてみましょう。10月中旬(ちゅうしゅう)の20時頃(なつ)、夏の(なつ)大三角(だいさんかく)は西(にし)へ傾(かたむ)き始め(はじ)、空(そら)には秋(あき)の星座(せいざ)が広が(ひろ)っています。南(みなみ)の空(そら)にはみなみのうお座(みなみのうお)の1等星(いちどうせい)フォーマルハウト、南東(なんとう)の空(そら)には土星(どせい)が0.7~0.9等の明(あ)きさでみずがめ座(みずがめ)近くに輝(かがや)いています。また、土星(どせい)と天頂(てんちよう)の間(あいだ)には「秋の四辺形(しへんけい)」を見(み)つけることができます。秋(あき)の四辺形(しへんけい)は星座(せいざ)ではなく秋(あき)を代表(だいひょう)する星(ほし)の並び(ならび)で、アンドロメダ座(アンドロメダ)の2等星(にとうせい)アルフェラッツ、ペガサス座(ペガサス)の2等星(にとうせい)シェアトとマルカブ、ペガサス座(ペガサス)の3等星(さんとうせい)アルゲニブで構成(こうせい)されています。アルフェラッツはアンドロメダ座(アンドロメダ)の頭(あたま)にあたる星(ほし)ですが「馬(うま)のへそ」という意味(いみ)を持ちます。アルフェラッツはかつてペガサス座(ペガサス)とアンドロメダ座(アンドロメダ)の両方(りやうほう)の星(ほし)とされていたため、このような名前(なまえ)がついたのでしょう。1928年の国際天文学連合(こくさいてんもんがくれんごう)の決定(けつてい)により、正式(せいしき)にアンドロメダ座(アンドロメダ)のみに属(ぞく)する星(ほし)とされました。シェアトは「足(あし)のつけね」、マルカブは「馬(うま)のくら」、アルゲニブは「翼(つばさ)」という意味(いみ)を持ちます。また、マルカブから南西方向(なんせいほうこう)にある2等星(にとうせい)のエニフは「鼻(はな)づら」という意味(いみ)ですが、この星(ほし)が探(さが)せると、ペガサスの頭(あたま)から首(くび)、胴体(どうたい)にかけての馬(うま)の姿(すがた)を想像(そうそう)できます。また、シェアト(足(あし)のつけね)から天頂(てんちよう)に向けて足(あし)が伸(の)びています。天駆(あまか)けるペガサス座(ペガサス)がお腹(なか)を天頂(てんちよう)に向けて逆(さか)さまになって飛(と)んでいるのは面白(おもしろ)いですね。



★オリオン座流星群★

オリオン座流星群(りゅうせいぐん)が、10月21日頃(きょう)に極大(きょくだい)を迎(むか)えます。今年(ことし)は新月(しんげつ)にあたるので、月明(つきあか)りの影(えい)響(きやう)が全(ま)くなく、観(かん)察(さつ)に好条件(こうじょうけん)です。放射点(ほうしゃてん)はオリオン座(オリオン座)のベテルギウス(べてるとぎうす)の北側(きたがわ)にあります。ただし、流星(りゅうせい)は空(そら)全体(くわんたい)に現(あらわ)れるので、広(ひろ)い視野(しや)で観(かん)察(さつ)しましょう。

流星(りゅうせい)は、彗星(すいせい)や小惑星(しょうわくせい)が宇宙空間(うちゅうくうかん)に残(のこ)したチリ(ちり)が地球(ちきゅう)の大気(たいき)に突入(とつにゅう)して光(ひかり)を放(はな)つ現象(げんしょう)です。この流星群(りゅうせいぐん)は、5月のみずがめ座(みずがめ座)η流星群(みずがめ座η流星群)と同じく「ハレー彗星(はるへいすいせい)」という彗星(すいせい)が元(もと)となって発(は)生(せい)する流星群(りゅうせいぐん)で、速(はや)く明(あ)るい流星(りゅうせい)が流(なが)れるのが特徴(とくちょう)です。



★レモン(C/2025 A6)彗星★

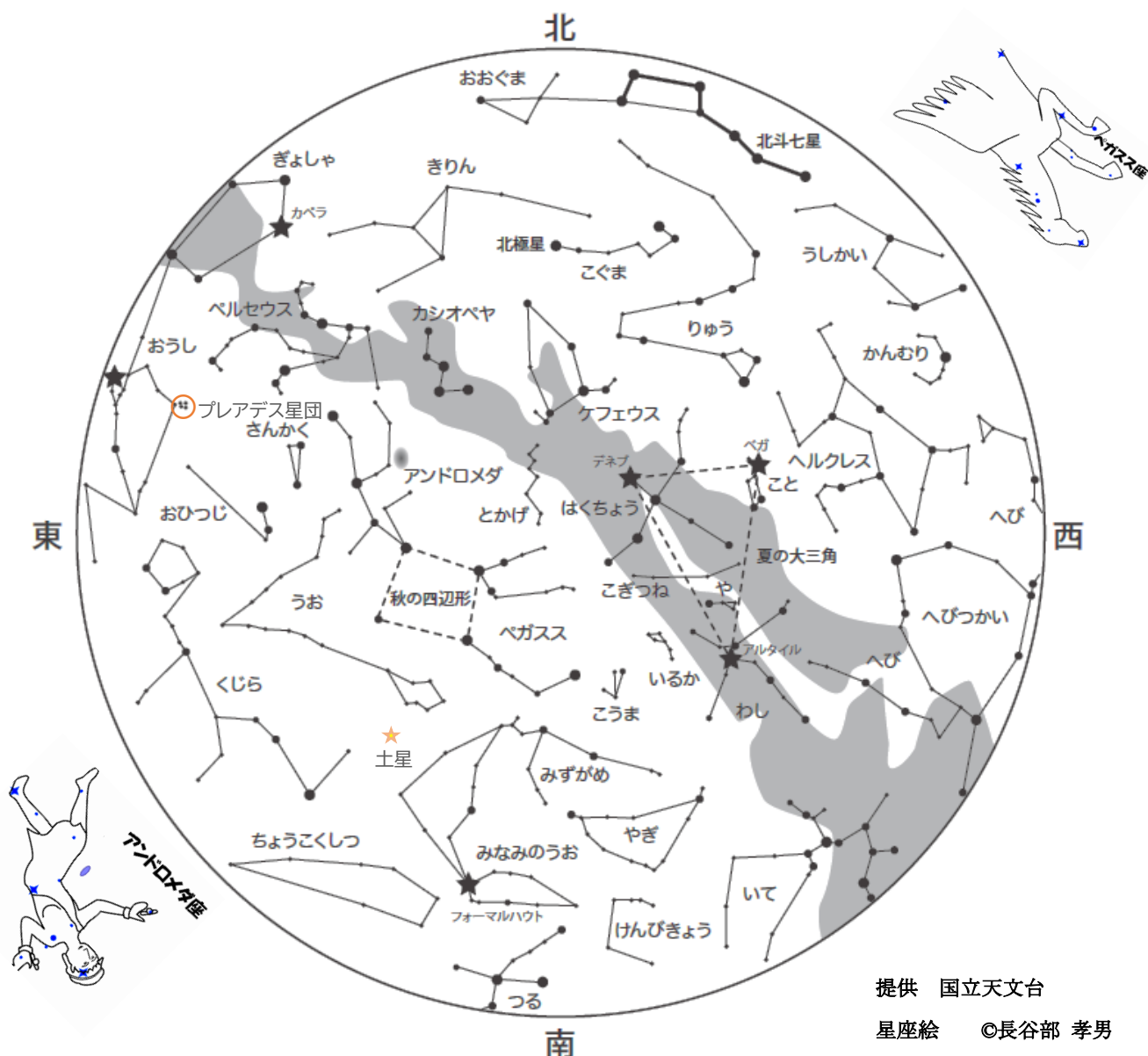
「レモン彗星(すいせい)」と聞(き)くと果物(くだもの)のレモン(れもん)を想像(さうぞう)しますが、これはアメリカ・アリゾナ州(しゅう)にあるレモン山(れもんさん)という山(やま)の頂上(ちやうじやう)にある天文台(てんもんたい)で2025年1月に発見(はつけん)された彗星(すいせい)です。地球(ちきゅう)に接(せつ)近(きん)するのは10月21日頃(きょう)で、4等星(よんとうせい)以上の明(あ)きさになると予想(よそう)されています。双眼鏡(そうがんきやう)があれば見(み)つけられそうです。観(かん)測(そく)しやすいのは10月後半(こうはん)の夕方(ゆがた)で、20日から25日頃(きょう)の日没(にちぼつ)1時間(じかん)後(ご)がおすすめです。20時には沈(しず)んでしまいますので、早(はや)めに西(にし)の空(そら)の地平線(ちへいせん)近く(ちかく)が開(ひら)けた所(ところ)で観(かん)察(さつ)するのがよいでしょう。この頃(ころ)は、うしかい座(うしかい座)のアルクトゥルス(アルクトゥルス)の上(うへ)にある2等星(にとうせい)イザール(イザール)をたよりに彗星(すいせい)を探(さが)してみましょう。25日以降(いじよう)は、彗星(すいせい)はへび座(へび座)に移動(いどう)していきます。



☆10月のプラネタリウムの内容(ないよう)については、別刷(べつず)りの「投影(とうえい)案内(あんない)」をらん(らん)ください

☆プラネタリウムのお休み 10/6(月)、14(火)、15(水)、20(月)、27(月)

10月中旬午後8時頃の星空



★ 10月の主な天文現象 ★

6日(月)	ちゅうしゅう めいげつ 中秋の名月
7日(火)	まんげつ 満月(ハンターズムーン/ハーベストムーン)
10日(金)	せいだん せつきん 月とプレアデス星団が接近
13日(月)	もくせい 月と木星が接近
14日(火)	かげん 下弦
21日(火)	しんげつ 新月
	ざりゅうせいぐん きよくだい オリオン座流星群が極大
30日(木)	じょう 上弦
	すいせい とうほうさいだいりかく とう 水星が東方最大離角(-0.1等)

じょうほう
イベント情報 (ちゅうおうとしょかん かいじ むしつ うけつけ
中央図書館2階事務室で受付)

★とよかわ星空観望会「土星と秋の星空」

11/22(土) 18:30~20:30

こうし なかしまけんじ
講師: 中島健次氏

かいじょう あかつかやまこうえん
会場: 赤塚山公園わくわくパーク

さんかりよう
参加料: 1人400円

もうしこみ
申込: 10/23(木)~10/26(日)

※ おうぼたすう ばあい ちゅうせん
応募多数の場合は抽選